

幼稚園保育に於ける戦時非常措置

東京女子高等師範學校附屬國民學校主事

堀

七

藏

一、

本年は決戦必勝の年であるから國民學校教育殊に國民學校高等科以上の教育に於ては、戦時非常措置を講せねばならぬ。しかし幼稚園保育に於ては特別な非常措置を講すべき範圍程度は甚だ僅少である。ミはいへ幼稚園保育に於ては大東亞戦争が長期に亙るこゝ充分覺悟して今後十年乃至十五年にして我が國を背負つて立つべき大國民を育成するこゝを常に念頭に置いて實際保育に當らねばならぬ。即ち幼稚園保育に於ては幼児の心身を健全に發達せしめ善良なる性情を涵養し家庭教育を補ふこゝを常住の大目的として一路邁進せねばならぬ。尤もこれは幼稚園令第一條の指示するこゝろであり、何れの幼稚園に於ても之を目的とせずこゝろである。それにもかゝらず實際の保育に於ては往々にして幼児の心身を健全に發達せしめ善良なる性情を涵養する大目的を背馳するが如きこゝに誠に少しもしない。例へば保育中幼児の姿勢に注意するこゝがされ位行はれてゐるであらうか。單に腰掛けたまきには「お行儀よく」ミ

屢々注意せられ躰けられるにしても、繪をかいたり、字を書いたり、またいろ／＼の手法や作業をするこゝなごには幼児の姿勢は全く等閑視せられてゐないのではあるまいか。

二、

今年二月末東京女子高等師範學校保育實習科入學志願者百七十二人中、眼鏡を使用してゐるもの三十五人、即ち全體の二割に達し實際身體検査の結果近視のもの實に五十餘人である。而して是等受験者が國語や理科の答案を書いてゐる姿勢を注意して觀察するミ、明視の距離に於て答案を書いてゐるものは百七十人中一人もないミいふ有様である。中にも始終左腕を枕にして答案を書いてゐるものすらある有様で、書寫の姿勢の悪いこゝに實に驚くべきものである。これは今日の中等學校の教育に於ける一大通弊であり、「姿勢の如き末節」を輕視する惡結果である。言ふまでもなく姿勢の悪いこゝは近視者を養成するばかりでなく、胸廓を壓迫して正常なる呼吸をなさず、爲めに肺結核等呼吸器の諸病を誘發する。また幼児から児童にかけては姿勢の

悪いために脊柱の異常を來し胸廓の發達を阻害すること頗る顯著である。従つて幼稚園保育から國民學校中等學校等の教育にかけ、正しいよい姿勢をすることを奨めることが頗る緊要であり、これは行常坐臥常に姿勢を正しくするよゝに絶えず躑けねばならぬ。單に腰掛けてお話をきくまきのみでなく、いろ／＼の作業をするまきにもそれ／＼の作業に應じて最もよい姿勢をせらしめねばならぬ。作業によりそれ／＼よい姿勢をなすやうに躑けることは身體を健全に發達せしめる爲めのみならず作業能率を高める爲めにも頗る緊要なこゝ勿論である。

三、

今年一月東京女子高等師範學校附屬國民學校初等科第一學年入學志願者男兒七十九名、女兒百七十五名（抽籤の結果候補者となりたるもの）合計二百五十四名につき身體検査を行ひたる結果は次の如くである。

疾病及異常	男兒		女兒	
	人	百分比	人	百分比
眼 結 膜 炎	一	一・三	二	五・七
關に 疑	一	一	〇	〇
す 疑	一	一	〇	〇
ら	一	一	〇	〇
其 他	二	二	二	二
計	一九	二四・〇五	一四	八・〇〇

するが爲め合計百分比は著しく大きなつてゐる。實際に於て何等の故障なきものは男兒七十九人中四十四人、従つて疾病異常あるもの三五、この百分比は四四・三〇女兒ではまた故障なきもの一七五人中一〇五人従つて疾病異常あるもの七十人、この百分比は四〇・〇〇である。故に疾病異常あるもの男兒女兒合計二五四人中一〇五人、この百分比は四一・三四である。

四、

本年三月東京女子高等師範學校附屬幼稚園入園志願者男五十八名、女百十六名（抽籤の結果候補者となりたるもの）合計百七十四名につき身體検査を行ひたる結果は次の如くである。

この統計に於ても一人の幼児が數種の疾病及び異常を併有するが爲め合計百分比が著しく大きなつてゐる。何等の故障なき者は男兒五十八人中十八人従つて男兒で疾病、異常あるもの四〇人、その百分比は六八・九七である。また故障なき者は女兒で一一六人中三人、従つて疾病異常あるもの八四人、その百分比は七二・四一である。百分比は七一・二六である。

さて國民學校の入學志願者統計を見るに疾病、異常を有する者は男兒では

のるす關に眼		他其科内				常異廓胸				のるす關に鼻耳			
計	其	合	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
計	他	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
一四	一	四七	九	三	一	二	三	八	四	二	〇	二	一
二四・二四	二	五九・四九	一・三九	〇	三	三	一〇・一三	一	三	〇	三	一	〇
三三	五	八五	二〇	三	三	四	六・二九	一	八	〇	一	七	二
二八・四五	一	四八・五七	一・四三	〇	三	一	一九	一	三	〇	二	二	〇
四七	三	一三二	二九	一	三	一	七・四八	一	五	〇	二	九	二
二七・〇〇	六	五一・九七	一・四二	一	三	一	二〇・〇八	一	三	〇	二	四	二
		一九・〇〇%	一・九〇%	一	三	一		一	三	〇	二	四	二
		一九・〇〇%	一・九〇%	一	三	一		一	三	〇	二	四	二
		一九・〇〇%	一・九〇%	一	三	一		一	三	〇	二	四	二
		一九・〇〇%	一・九〇%	一	三	一		一	三	〇	二	四	二

五九・五% 女児では四八・六% 男児及び女児では五二・〇% に及ぶことは注目せねばならぬ。既に説明した如く一人の児童で數種の疾病及び異常を兼有するものがあるから實際に於て全く故障のないものは男児では七九人中四四人女児では一七五人中一〇五人である。しかし親は勿論、幼稚園保母も立派な健康體を考へてゐるものにかくも多くの者が疾病及び異常を有する事實を見ては家庭に於ても幼稚園に於ても幼児の身體について充分注意してその養育又は保育に當らねばならぬ。一體右の入學志願者合計二百五十四人中の大多數は幼稚園保育を受けつゝあるものなるこゝに鑑み、幼稚園保育に於ては幼児の身體につきたまたその健康狀況につき最大の關心を拂はねばならぬ。殊に眼に關する疾病が男児では二四%、女児では八% 女全體については一三% もあるから幼児の眼の衛生について充分注意を拂はねばならぬ。入學児童

國民學校入學兒童になる「中」程度のもの、「大」程度のも
 のが甚だ多い。即ち幼稚園保育期間に於て「中」の程度のも
 の、「大」の程度のものが著しく増加するこゝが注目せらる
 べきである。幼稚園保育時期に於て扁桃腺肥大の摘出は困
 難であるにしてもこの爲め著しく發熱したり口で呼吸する
 惡習慣に充分警戒せねばならぬ。

六、 尙ほ國民學校入學者についての身體検査統計（これを「國
 民學校」ニ表はす）と幼稚園入園者についての身體検査統計
 （これを「幼稚園」ニ表はす）を百分比にて對照するに次の
 如くである。

疾病及異常	幼稚園		國民學校	
	男	女	男	女
眼に關するもの	二四・一四%	二八・四五%	二四・〇五	八・〇〇
耳鼻に關するもの	三六・二一	二七・五九	一三・九二	二二・八六
胸廓異常	一三・七九	四・三一	一〇・一三	六・二九
内科その他	四四・八三	五二・五五	一一・三九	一一・四三
合計	一一八・九七	一一二・九三	一一四・九四	四八・五七
疾病異常ある者	六八・九七	七二・四一	七一・二六	四四・三〇

右の基本的な統計を醫學的に考察することは専門家に譲
 るとして、茲に幼稚園に於ける保育の實際に當つては幼兒
 の身體について深甚の考慮を拂ふべきことを特に提唱せね
 ばならぬ。即ち幼稚園保育に於ける最も重要な戰時非常
 措置は實に幼兒の心身を健全に發達せしめ善良なる性情を
 涵養することに在る點を強調するのである。